

平成30年12月19日
国立研究開発法人理化学研究所
理事長 松本 紘

国立研究開発法人理化学研究所における平成29年度動物実験実施状況等に係る
自己点検・評価について

研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第71号）（以下「基本指針」という。）及び実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（環境省告示第88号）（以下「飼養保管基準」という。）を踏まえ、当研究所における規程等の整備状況及び平成29年度動物実験実施状況等について同基本指針及び飼養保管基準への適合性の観点から自己点検を行った結果、下記のように評価しました。

記

1. 規程類については、いずれも基本指針及び飼養保管基準に適合していることを確認し、適正であると評価した。
2. 平成29年度中に各事業所で提出された実験計画申請及び動物実験報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各事業所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙1】
3. 平成29年度中に各事業所で提出された施設の登録申請及び飼育管理報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各事業所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙2】
4. 平成29年度中に各事業所で実施された動物実験従事者等の教育講習及び登録は、各地区の動物実験監督者の報告から、いずれも適切に履行されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙3】
5. 平成29年度の各動物実験審査委員会の構成は、基本指針に適合していると判断し、適正であると評価した。【別紙4】
6. 平成28年度動物実験実施状況等に係る自己点検・評価を踏まえ、各事業所において、点検評価結果を踏まえた再教育訓練の内容充実と実施、最近の動物福祉の動向に即した麻酔方法への移行、使用予定動物数の適切な算出など、より適正な動物実験を実施するために必要と考えられる対応を行った。
7. 今後とも、各事業所における自己点検・評価の結果及びその対応状況について情報を共有し、教育訓練の充実及び動物実験に携わる者への啓発を行い、動物福祉ならびに科学的な面から、3Rを踏まえた適正な動物実験を実施するために必要な措置を講じていくように努め、基本指針及び飼養保管基準に定められた公表を行う。

以上

参考

1. 動物実験協議会協議員一覧
2. 平成29年度動物使用数

1. 審査状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日実施分)

事業所	実施日	審査の別 開催/書面	実験計画審査件数			審査結果			所長により承認された件数	備考
			新規	継続	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数		
和光事業所	H29. 4. 13	書面	3		3	4	2	0	6	
	H29. 5. 18	書面	0		10	2	8	0	10	
	H29. 6. 21	開催	0		8	4	4	0	8	自己点検・評価の実施
	H29. 7. 6	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 7. 18	書面	3		5	5	3	0	8	
	H29. 7. 24	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 8. 21	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 9. 15	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 9. 20	書面	0		5	3	2	0	5	
	H29. 9. 20	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 10. 13	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 10. 25	書面	0		3	1	2	0	3	
	H29. 11. 28	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 11. 29	書面	0		6	3	3	0	6	
	H29. 12. 19	書面	0		2	2	0	0	2	
	H29. 12. 25	書面	0		3	2	1	0	3	
	H30. 1. 31	書面	2		2	2	2	0	4	
	H30. 2. 28	開催	3	28	2	16	17	0	33	
	H30. 3. 13	書面	0		3	3	0	0	3	
H30. 3. 27	書面	0		1	1	0	0	1		
合計			11	28	60	55	44	0	99	
播磨事業所 (和光動物実験審査委員会が所掌)	H29. 6. 21	開催								自己点検・評価の実施
	H29. 8. 21	書面	0	0	1	1	0	0	1	
	H29. 12. 25	書面	0	0	1	1	0	0	1	
	合計		0	0	2	2	0	0	2	
筑波事業所	H29. 6. 26	開催	12	0	0	12	0	0	12	自己点検・評価の実施
	H30. 3. 19	書面	0	0	1	1	0	0	1	
	合計		12	0	1	13	0	0	13	
横浜事業所	H29. 4. 17	書面	1		1	0	2	0	2	
	H29. 5. 23	書面	0		2	2	0	0	2	
	H29. 5. 24	書面	0		4	0	4	0	4	
	H29. 6. 20	開催	1		3	2	2	0	4	自己点検・評価の実施
	H29. 6. 26	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 7. 26	書面	2		12	1	13	0	14	
	H29. 8. 29	書面	1		3	0	4	0	4	
	H29. 9. 5	書面	0		1	1	0	0	1	
	H29. 9. 26	書面	1		5	5	1	0	6	
	H29. 10. 30	書面	0		3	0	3	0	3	
	H29. 12. 6	書面	0		9	2	7	0	9	
	H30. 1. 18	書面	0		5	3	2	0	5	
	H30. 2. 5	書面	2		6	5	3	0	8	
	H30. 3. 7	開催	1	25	1	17	10	0	27	
	H30. 3. 23	書面	0		1	1	0	0	1	
	合計		9	25	57	40	51	0	91	
神戸事業所	H29. 4. 24	書面	0		2	2	0	0	2	
	H29. 4. 24	書面	1		2	1	2	0	3	
	H29. 5. 18	書面	0		3	2	1	0	3	
	H29. 5. 18	書面	0		1	0	1	0	1	
	H29. 6. 20	書面	0		2	1	1	0	2	
	H29. 6. 20	書面	1		2	0	3	0	3	
	H29. 7. 31	書面	0		4	4	0	0	4	
	H29. 7. 31	書面	3		3	0	6	0	6	
	H29. 8. 8	開催	0		0	0	0	0	0	自己点検・評価の実施
	H29. 9. 4	書面	0		6	5	1	0	6	
	H29. 9. 4	書面	1		4	1	4	0	5	
	H29. 10. 12	書面	0		3	2	1	0	3	
	H29. 10. 25	書面	0		2	2	0	0	2	
	H29. 10. 25	書面	4		0	1	3	0	4	
	H29. 11. 22	書面	0		4	2	2	0	4	
	H29. 12. 18	書面	0		6	4	2	0	6	
	H30. 1. 17	書面	0		1	1	0	0	1	
	H30. 2. 1	書面	0		8	5	3	0	8	
	H30. 2. 1	書面	1		0	0	1	0	1	
	H30. 3. 5	書面	0		4	4	0	0	4	
H30. 3. 13	書面	3	36	4	17	26	0	43		
合計		14	36	61	54	57	0	111		
総合計			46	89	181	164	152	0	316	

2. 実施状況

地区	所長により承認されていた実験計画数	規程に基づき提出された報告書数	適正に実施されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	96	96	96	0
播磨地区	1	1	1	0
筑波地区	12	12	12	0
横浜地区	45	45	45	0
神戸第1地区 大阪地区	103	103	103	0
総合計	257	257	257	0

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）、『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』（環境省告示第88号）、及び『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、審査・承認。苦痛度については『動物実験処置の苦痛分類』動物実験協議会確認事項（平成18年12月8日）に基づき審査・承認。

平成29年度動物実験に係る施設の審査及び飼育施設の管理状況

1. 審査状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日実施分)

研究所	実施日	審査の別 開催／書面	施設審査件数		審査結果			所長により承認された件数
			新規	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光事業所	H29. 4. 13	書面	1	1	1	1	0	2
	H29. 5. 18	書面	1	2	3	0	0	3
	H29. 7. 6	書面	0	1	1	0	0	1
	H29. 7. 18	書面	2	0	2	0	0	2
	H29. 8. 21	書面	1	0	1	0	0	1
	H29. 9. 20	書面	0	2	2	0	0	2
	H29. 12. 25	書面	1	0	1	0	0	1
	H30. 2. 28	開催	1	24	25	0	0	25
	H30. 3. 13	書面	1	0	1	0	0	1
合計			8	30	37	1	0	38
播磨事業所	該当なし							
	合計		0	0	0	0	0	0
筑波事業所	H30. 3. 19	書面	0	3	3	0	0	3
	合計		0	3	3	0	0	3
横浜事業所	H29. 6. 20	開催	1	0	1	0	0	1
	H30. 2. 5	書面	2	0	1	1	0	2
	H30. 3. 7	開催	0	11	11	0	0	11
	合計		3	11	13	1	0	14
神戸事業所	H29. 4. 24	書面	0	2	1	1	0	2
	H29. 4. 24	書面	0	1	1	0	0	1
	H29. 7. 31	書面	1	0	1	0	0	1
	H29. 9. 4	書面	0	1	0	1	0	1
	H29. 9. 4	書面	1	0	1	0	0	1
	H29. 10. 12	書面	0	1	1	0	0	1
	H29. 10. 25	書面	1	1	2	0	0	2
	H29. 12. 18	書面	0	1	1	0	0	1
	H30. 1. 17	書面	0	15	15	0	0	15
	H30. 2. 1	書面	0	1	1	0	0	1
	H30. 3. 5	書面	0	1	1	0	0	1
	H30. 3. 13	書面	1	4	2	3	0	5
合計			4	28	27	5	0	32
総合計			15	72	80	7	0	87

2. 飼育施設の管理状況

地区	所長により承認されていた飼育施設数	規程に基づき提出された報告書数	適正に管理されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	26	26	26	0
播磨地区				
筑波地区	6	6	6	0
横浜地区	4	4	4	0
神戸第1地区	9	9	9	0
大阪地区				
計	45	45	45	0

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）、『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』（環境省告示第88号）、『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）、及び『実験動物の「飼育」「保管」「実験」施設に関わる要件（ガイドライン）』動物実験協議会確認事項（平成19年11月2日）に基づき審査・承認。

平成29年度教育訓練実施状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日実施分)

地区	対象者	実施回数	参加者数	内 容	主催・担当
和光地区	新規登録予定者	21	93	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 和光安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	14	36		
	再教育	1	585		
	合計	36	714		
播磨地区	新規登録予定者 (外国人)	1	2	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 播磨安全管理室
	再教育	1	6		
	合計	2	8		
筑波地区	新規登録予定者	9	17	①動物実験・実験動物に係る国内法令等 ②動物実験に係る所内規程と手続き ③動物実験における倫理規範 ④自己点検・評価結果を踏まえた動物実験計画立案等及び災害時対応について ⑤マウス咬傷事故防止および咬傷事故発生時の対応について ⑥動物実験手技	動物実験監督者 実験動物開発室長 飼育管理者 健康管理室 筑波安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	1	1		
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)[ビデオ講習、英語版資料配付による講習を含む]	1	182		
	合計	11	200		
横浜地区	新規登録予定者	23	116	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 横浜安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	11	29		
	再教育訓練 (実験従事者・飼育技術者全員)	1	355		
	合計	35	500		
神戸第1地区 大阪地区	新規登録予定者 (外国人を含む)	39	116	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項 ④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項 (飼育マニュアル、実技研修) ⑤感染症コントロールについて	動物実験監督者 神戸安全管理室
	CDB動物飼育施設 新規立入者	4	54		動物実験監督者 生体モデル開発ユニット
	再教育訓練 (実験従事者・飼育技術者全員、実験責任者への研修含む)[ビデオ講習、英語版資料配付による講習を含む]	3	430		動物実験監督者 神戸安全管理室
	合計	46	600		
総合計		130	2022		

※『動物実験実施規程』(理化学研究所平成15年10月1日規程第129号)に基づき、実施。

平成29年度動物実験従事者／飼育技術者登録状況

(平成30年3月31日現在)

地区	登録者数	内訳	
		実験従事者	飼育技術者
和光地区	558	506	52
播磨地区	9	9	
筑波地区	174	115	59
横浜地区	369	344	25
神戸第1地区			
大阪地区	442	417	25
合計	1,552	1,391	161

※『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、登録。

平成29年度 動物実験審査委員会委員

(平成30年3月31日現在)

事業所	構成	氏名	備考	基本指針第3の3役割
和光事業所 (播磨事業所分も所管)	和光地区の動物実験監督者	高橋 英機	BSI 研究基盤センター 副センター長	②
	和光事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	岡村 匡史	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所 感染症制御研究部 ヒト型動物開発研究室 室長	②
		布谷 鉄夫	一般財団法人 日本生物科学研究所 顧問	②
	和光事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	栃木 衛	産業医	③
		黒田 公美	BSI 親和性社会行動研究チーム TL	①
		糸原 重美	BSI 行動遺伝学技術開発チーム TL	①
	研究支援部長	佐々 嘉充		③
安全管理室長	篠原 茂己		③	
筑波事業所	筑波地区の動物実験監督者	阿部 訓也	BRC 疾患ゲノム動態解析技術開発チーム TL	①
	筑波事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	八神 健一	筑波大学 医学医療系 特命教授	②
		風見 昌幸	つくば市生活環境部 次長	③
	筑波事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	小倉 淳郎	BRC 遺伝工学基盤技術室 室長	②
		小林 喜美男	BRC マウス表現型解析開発チーム 開発技師	②
		吉木 淳	BRC 実験動物開発室 室長	①
	研究支援部長	川嶋 一美		③
安全管理室長	田口 一徳		③	
横浜事業所	横浜地区の動物実験監督者	古関 明彦	IMS 免疫器官形成研究グループ GD	①
	横浜事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	伊藤 勇夫	公益財団法人 千葉県動物保護管理協会 理事	②
		國田 智	学校法人 自治医科大学 教授	①
	横浜事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	橋本 浩介	CLST 機能性ゲノム解析部門 LSA要素技術研究グループ トランスクリプトーム研究チーム 研究員	①
		鈴木 亜香里	IMS 自己免疫疾患研究チーム 副TL	①
		岩野 はるか	IMS センター長室 コーディネーター	②
	研究支援部長	長谷川 孝徳	IMS 免疫器官形成研究グループ 上級技師	①
安全管理室長	岩田 伸一		③	
安全管理室長	吉識 肇		③	
神戸事業所	神戸第1地区(CDB)の動物実験監督者	清成 寛	CLST 生体モデル開発ユニット UL	①
	神戸第1地区(CLST)の動物実験監督者	林 拓也	CLST 機能構築イメージングチーム TL	①
	大阪地区の動物実験監督者	隅山 健太	QBic 高速ゲノム変異マウス作製支援ユニット UL	①
	神戸事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	浅野 雅秀	京都大学大学院医学研究科 教授	②
		鍵山 直子	公益財団法人実験動物中央研究所 理事	②
	神戸事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	今井 猛	CDB 感覚神経回路形成研究チーム TL	①
		崔 翼龍	CLST 分子動態イメージング研究ユニット UL	①
		平谷 伊智朗	CDB 発生エピジェネティクス研究チーム TL	①
		古田 泰秀	CDB コーディネーター	①
	研究支援部長	森本 充	CDB 呼吸器形成研究チーム TL	①
安全管理室長	佐藤 毅		③	
安全管理室長	片山 敦		③	

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）及び『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、設置。

基本指針第3の3に示す役割

- ①動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ②実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③その他学識経験を有する者

平成29年度 動物実験協議会協議員名簿

(平成30年3月31日現在)

	氏名	職名	所属
議長	有信 睦弘	理事(安全管理担当)	理研
(1) 動物実験監督者	高橋 英機	研究基盤センター 副センター長	理研 脳科学総合研究センター
	阿部 訓也	疾患ゲノム動態解析技術開発チーム チームリーダー	理研 バイオリソースセンター
	古関 明彦	免疫器官形成研究グループ グループディレクター	理研 統合生命医科学研究セン ター
	清成 寛	生体モデル開発ユニット ユニットリーダー	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
	林 拓也	機能構築イメージングチーム チームリーダー	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
	隅山 健太	高速ゲノム変異マウス作製支援ユニッ ト ユニットリーダー	理研 生命システム研究セン ター
(2) 動物実験審査委員 会委員(前号のものを除 く)のうちから所長が推 薦するもの 各1名	黒田 公美	親和性社会行動研究チーム チームリーダー	理研 脳科学総合研究センター
	八神 健一	医学医療系 特命教授	国立大学法人筑波大学
	伊藤 勇夫	理事	公益財団法人千葉県動物保護 管理協会
	鍵山 直子	理事	公益財団法人実験動物中央研 究所
(3) 研究所内外の有識 者等のうちから、理事長 が指名又は委嘱する者 4 名以内	島田 壽子	弁護士	矢島匡法律事務所
	林 良博	館長	独立行政法人国立科学博物館
	小幡 裕一	センター長	理研 バイオリソースセンター
(4) 総務部長	加賀屋 悟	部長	総務部
(5) 人事部長	田代 聡	部長	人事部
(6) 安全管理室長	宮川 眞言	室長	安全管理室

平成29年度実験動物使用数

(集計期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

マウス	ラット	ウサギ	モルモット	スンクス	フェレット	ネコ	サル (マカク)	サル (マーモセット)	ハイイロ ジネズミ オボッサ ム	フィンチ 等の鳥類	爬虫類	ブタ	ハムス ター	トゲマウ ス
466,328	6,462	50	0	38	89	0	43	261	321	82	530	25	142	0

・数字は、実験計画を遂行する過程で安楽死処置した動物の数